



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 ニッパツ(日本発条株式会社)

コード番号 5991 URL <http://www.nhkspg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉村 和己

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画本部経営企画部長 (氏名) 八代 隆二

TEL 045-786-7513

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	322,843	△6.2	15,752	△37.7	16,801	△33.0	10,772	△29.6
23年3月期第3四半期	344,306	20.3	25,277	193.5	25,090	207.3	15,297	161.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,605百万円 (△71.4%) 23年3月期第3四半期 12,625百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	46.02	—
23年3月期第3四半期	64.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	378,594	153,673	37.6
23年3月期	356,048	153,744	40.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 142,227百万円 23年3月期 142,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

現時点では24年3月期の配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	446,000	△2.2	23,000	△29.8	23,000	△31.2	14,000	△27.9	59.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	244,066,144 株	23年3月期	244,066,144 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	9,994,828 株	23年3月期	9,987,791 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	234,074,211 株	23年3月期3Q	235,999,735 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	2
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
（3）継続企業の前提に関する注記	9
（4）セグメント情報等	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日までの9ヶ月間）における日本経済は、東日本大震災からの回復基調に転じておりましたが、タイの洪水の影響により停滞いたしました。また世界経済は、欧州の債務危機を背景とした景気の低迷により、中国・インドを中心とした新興国でも成長は鈍化してきております。

当社グループの主要な事業分野であります自動車関連は、第3四半期（3ヶ月間）の国内販売は1,126千台で前年同期比22.9%の増加となりましたが、東日本大震災、タイの洪水の影響から、累計期間では3,066千台で前年同期比11.3%の減少となりました。完成車輸出は累計3,355千台で前年同期比9.2%の減少となりました。これにより国内の自動車生産台数は累計6,493千台で前年同期比8.4%の減少となりました。

また、もう一方の主要な事業分野であります情報機器関連は、顧客であるHDD（ハードディスクドライブ）メーカーの東日本大震災やタイの洪水による減産、さらに業界再編の影響によるHDDの減産などにより受注が減少いたしました。

以上のような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は322,843百万円（前年同期比6.2%減）となりました。また収益面では、継続した総原価低減活動を実施しましたが、円高の影響もあり、営業利益は15,752百万円（前年同期比37.7%減）、経常利益は16,801百万円（前年同期比33.0%減）、四半期純利益は10,772百万円（前年同期比29.6%減）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

[懸架ばね事業]

当第3四半期連結累計期間において、懸架ばね事業は、国内外での自動車の減産により、売上高が66,054百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益（営業利益）が4,598百万円（前年同期比15.4%減）となりました。

[シート事業]

当第3四半期連結累計期間において、シート事業は、国内外での自動車の減産により、売上高が129,304百万円（前年同期比6.7%減）、セグメント利益（営業利益）が5,878百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

[精密部品事業]

当第3四半期連結累計期間において、精密部品事業は、国内外での自動車の減産、HDDの減産、業界再編の影響による受注減及び円高により、売上高が74,108百万円（前年同期比13.7%減）、セグメント利益（営業利益）が2,682百万円（前年同期比72.2%減）となりました。

[産業機器ほか事業]

当第3四半期連結累計期間において、産業機器ほか事業は、連結子会社の追加により、売上高は53,375百万円（前年同期比5.6%増）になりましたが、既存事業の受注減により、セグメント利益（営業利益）は2,592百万円（前年同期比17.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に現金及び預金や営業債権の増加により、前連結会計年度末に比べ22,545百万円増加し、378,594百万円となりました。

負債については、主に第2四半期連結会計期間における社債の発行や営業債務の増加により、前連結会計年度末に比べ22,616百万円増加し、224,920百万円となりました。

純資産については、利益の留保による利益剰余金の増加がありましたが、株式市況の低迷や円高の影響があったことから、前連結会計年度末に比べほぼ横ばいの70百万円減少で、153,673百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は、欧州の金融不安、新興国の経済成長の鈍化などから、引き続き先行き不透明な状況にあります。このような厳しい環境下ではありますが、受注活動の強化と、さらなる原価低減努力により、業績の改善に努めて参る所存です。

なお、平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月10日に公表した業績予想数値に変更はありません。

平成24年3月期の連結業績予想の前提となる第3四半期以降の為替レートは、77円/米ドル、2.5円/タイバーツとしております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,300	63,576
受取手形及び売掛金	77,950	90,272
商品及び製品	12,903	13,167
仕掛品	6,762	8,373
原材料及び貯蔵品	8,394	9,514
部分品	3,937	3,657
繰延税金資産	4,674	3,480
その他	13,424	15,713
貸倒引当金	△351	△246
流動資産合計	180,996	207,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	106,956	107,151
減価償却累計額	△65,916	△67,352
建物及び構築物（純額）	41,039	39,798
機械装置及び運搬具	161,509	161,201
減価償却累計額	△125,435	△128,436
機械装置及び運搬具（純額）	36,074	32,764
土地	29,866	29,520
リース資産	5,416	5,264
減価償却累計額	△2,027	△2,440
リース資産（純額）	3,389	2,824
建設仮勘定	5,543	7,259
その他	47,885	48,466
減価償却累計額	△42,254	△43,001
その他（純額）	5,631	5,465
有形固定資産合計	121,544	117,632
無形固定資産	2,383	2,613
投資その他の資産		
投資有価証券	44,041	40,407
長期貸付金	439	364
繰延税金資産	2,319	2,283
その他	4,908	7,950
貸倒引当金	△584	△168
投資その他の資産合計	51,123	50,838
固定資産合計	175,051	171,084
資産合計	356,048	378,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	91,255	80,188
電子記録債務	—	30,550
短期借入金	21,509	26,109
未払法人税等	5,310	1,187
繰延税金負債	1,076	803
役員賞与引当金	190	176
設備関係支払手形	536	1,712
その他	24,663	20,285
流動負債合計	144,542	161,013
固定負債		
社債	10,000	20,000
長期借入金	24,454	24,958
リース債務	2,889	2,450
繰延税金負債	8,118	4,784
退職給付引当金	10,081	9,539
役員退職慰労引当金	682	703
執行役員退職慰労引当金	667	687
持分法適用に伴う負債	—	33
その他	868	749
固定負債合計	57,761	63,906
負債合計	202,303	224,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,009	17,009
資本剰余金	17,523	17,523
利益剰余金	114,642	121,935
自己株式	△6,755	△6,764
株主資本合計	142,420	149,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,208	9,661
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	△11,823	△17,136
その他の包括利益累計額合計	383	△7,476
少数株主持分	10,940	11,445
純資産合計	153,744	153,673
負債純資産合計	356,048	378,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	344,306	322,843
売上原価	293,876	282,075
売上総利益	50,430	40,767
販売費及び一般管理費	25,152	25,014
営業利益	25,277	15,752
営業外収益		
受取利息	182	454
受取配当金	599	953
持分法による投資利益	1,364	1,150
不動産賃貸料	652	614
その他	717	658
営業外収益合計	3,516	3,832
営業外費用		
支払利息	740	681
為替差損	1,631	989
その他	1,332	1,113
営業外費用合計	3,704	2,783
経常利益	25,090	16,801
特別利益		
投資有価証券売却益	31	—
負ののれん発生益	144	—
貸倒引当金戻入額	—	113
特別利益合計	176	113
特別損失		
投資有価証券評価損	258	718
関係会社出資金評価損	—	196
減損損失	15	63
訴訟関連損失	—	291
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	302	—
その他	588	10
特別損失合計	1,164	1,281
税金等調整前四半期純利益	24,102	15,634
法人税等	7,100	3,820
少数株主損益調整前四半期純利益	17,002	11,813
少数株主利益	1,704	1,040
四半期純利益	15,297	10,772

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,002	11,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,118	△2,570
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△2,945	△4,985
持分法適用会社に対する持分相当額	△314	△652
その他の包括利益合計	△4,376	△8,207
四半期包括利益	12,625	3,605
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,168	2,912
少数株主に係る四半期包括利益	1,457	692

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	69,217	138,625	85,905	50,558	344,306	—	344,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,165	80	786	4,530	6,563	△6,563	—
計	70,382	138,705	86,692	55,089	350,869	△6,563	344,306
セグメント利益(営業利益)	5,438	7,054	9,653	3,131	25,277	—	25,277

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額6,563百万円はセグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており、調整額はございません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	合計
	懸架ばね	シート	精密部品	産業機器 ほか	計		
売上高							
外部顧客への売上高	66,054	129,304	74,108	53,375	322,843	—	322,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,242	62	686	4,428	6,420	△6,420	—
計	67,297	129,367	74,794	57,804	329,263	△6,420	322,843
セグメント利益(営業利益)	4,598	5,878	2,682	2,592	15,752	—	15,752

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額6,420百万円はセグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しており、調整額はございません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

事業セグメントの利益(又は損失)の測定方法の変更

従来、事業セグメントの損益については経常損益ベースの数値を利用し、全社費用等については、各セグメントに配賦しておりませんでした。当連結会計年度より、経営管理上利用している損益を経常損益から営業損益に変更し、セグメント損益測定の精緻化を図ったことに伴い、第1四半期連結累計期間から、事業セグメントの損益を営業損益ベースの数値に変更し、全社費用等についても各セグメントに配賦することとしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を当年度の事業セグメントの損益の測定方法に基づき、作り直したものは、「I 前第3四半期連結累計期間」に記載のとおりです。

(参考情報)

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	計	消去又は 全社	連結
売上高	247,636	32,808	78,646	359,091	△14,784	344,306
セグメント利益(営業利益)	13,413	1,184	10,679	25,277	—	25,277

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米・・・アメリカ

(2) アジア・・・タイ・マレーシア・中国・インド

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	計	消去又は 全社	連結
売上高	240,399	26,861	70,447	337,708	△14,865	322,843
セグメント利益(営業利益)	9,263	260	6,229	15,752	—	15,752

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米・・・アメリカ

(2) アジア・・・タイ・マレーシア・中国・インド

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。